

当案内及び過去に発行した案内は弊社ウェブサイト(<http://www.medience.co.jp/>)よりPDF形式にてダウンロードできます。

## 新規受託項目のお知らせ

拝啓 時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素は格別のお引き立てをいただき、厚くお礼申し上げます。

さて、弊社では皆様のご要望にお応えするため、検査の新規拡大に努めておりますが、この度、下記項目の検査受託を開始することとなりました。

取り急ぎご案内致しますので、宜しくご利用の程お願い申し上げます。

敬具

### 記

#### 新規受託項目

- [25904] ルフィナミド

#### 受託開始日

- 平成25年7月16日(火)

# ルフィナミド

レノックス・ガストー症候群 (Lennox-Gastaut Syndrome : LGS) は就学前の小児で発症する重篤な難治性のおてんかん症候群です。複数のおてんかん発作型を示し、コントロールが極めて困難とされており、強直発作 (筋肉の攣縮)、脱力発作 (突然の筋緊張の弛緩)、欠神発作 (短時間の意識消失)、強直間代発作 (大発作) 及びミオクロニー発作 (突発的な筋肉の攣縮) などの所見が認められます。

国内にはおよそ3,600人程度の患者が存在するとされ、抗てんかん薬やホルモン療法などによる治療が行われています。

ルフィナミドは、トリアゾール骨格を有する新規化合物で、脳内のナトリウムチャンネルに作用し、抗てんかん作用を示すとされています。本剤は欧米・アジア地域の20カ国以上で、利用されていますが、今年の5月に「他の抗てんかん薬で十分な効果が認められないLGSにおける強直発作及び脱力発作に対する抗てんかん薬との併用療法」に対する効能が認められ国内での利用が可能となりました。

本剤は、併用する薬剤、肝機能の低下及び食事などの影響により、血中濃度が増減することが知られており、より効果的な治療のために、血中濃度の確認をおすすめします。

## 検査要項

項目コード	25904
検査項目名	ルフィナミド
検体及び保存方法	血清またはEDTA血漿 0.3mL (凍結)
検査方法	LC-MS/MS法
有効治療濃度	(設定なし) $\mu\text{g/mL}$
所要日数	3~5日
管理料	470点 (B001-2 特定薬剤治療管理料)
主な商品名	イノベロン <sup>®</sup> 錠
備考	<p>■検体採取方法について</p> <p>血清の場合： 分離剤入り採血管は使用しないで下さい。測定値が分離剤の影響を受ける場合があります。</p> <p>EDTA血漿の場合： 採血管 (容器番号14番) にて採血後、転倒混和により攪拌。さらに遠心にて血球成分と血漿成分を分離後、血漿成分のみを提出用容器 (容器番号02番) に移し、凍結の上でご提出下さい。</p> <p>■特定薬剤治療管理料について</p> <p>通知： (1) 特定薬剤治療管理料は、下記のものに対して投与薬剤の血中濃度を測定し、その結果に基づき当該薬剤の投与量を精密に管理した場合、月1回に限り算定する。</p> <p>イ. てんかん患者であって抗てんかん剤を投与しているもの。</p>

## 参考文献

山内 俊雄, 他 : 臨床医薬, 15(8) : 1341~1364, 1999.

Perucca E, et al., Epilepsia, 49(7) : 1123~1141, 2008.